



支援センターだより



2011.2 発行 vol.76

寒い寒い2月がやってきます。如何お過ごしですか。

日本列島あちこちで雪が降り、生活面で大変な思いをしていらっしゃる方々がいらっしゃるようです。東京は朝夕は寒いですが比較的安定した天気がいまのところ続いています。今年は東京に雪は降るのでしょうか。



もうすぐ豆まき

「♪ 鬼は外、福はうち、パラパラパラ豆の音、鬼はこっそり逃げていく ♪」
節分の頃になると思い出すお話があります。ご存知の方もいらっしゃると思いますが「九ひきの小おに」というお話です。

『小さな角で、卵のからをやぶり、ぴょんぴょんぴょんと…元気に外に飛び出し、九匹の小おに達は葉っぱの舟にのって春の小川へ旅にでかけていきます。葉っぱの舟は九ひきの小おに達が乗るとまんいんでおくらまんじゅうです。だれも文句はいわず楽しそうに歌を歌ったりしていましたが、しばらくすると、うるさい、歌なんか止めると怒る小おに、舟が揺れるのが怖くて泣き出す小おに、怖くなんかないよと、もっと揺らして意地悪する小おに達がいて舟の中は騒々しくなります。そこにてんぐがやってきて、小おに達を食べようとしますが、元気のよい小おにが「あぶないみんなつのをたてるんだ」と声をかけ、天狗を追い払い危ないところを逃げ出し、次に現れた河童も追い払い、小おにたちは旅を続けてある村にやってきます。

楽しそうに歌を歌いながら土手を走っていく男の子を見つけ、「よーし、ぼくはあの子のところへ行くー」と陽気な小おには元気に男の子を追いかけていきました。

橋の上で女の子に意地悪をしている男の子がいました。「しめしめおれさまは、あの子に決めた」と飛び出していったのは意地悪小おにでした。小おに達は子ども達に出会うとつきからつきへと葉っぱの舟からとびだしていきました。

陽気な小おには陽気な子どもが大好き、意地悪小おには意地悪な子どもが大好き。そして元気な小おにが元気な子の心にすみつくとますます元気になるのです。

でもいつまでも、葉っぱの舟にのこっている小おにがいます。「あー腹が立つ、ぷんぷん怒っている子どもがいらないよー」「泣き虫はどこにいるんだよー」と残っているのは怒りんぼおにと泣き虫おにです。さあ、残ったおにはいったいだれのところに行くでしょう』

…と話は終わります。心の一面をユーモラスでコミカルに九匹の小おにの物語として描いたお話です。最近では、子どもに絵本を読んでやる大人が多くなっているそうです。言葉で子どもを楽しませ歡ばせ、豊かな物語体験をさせる事は子どもの心の成長や言葉が豊かになるのに大きな力があるそうです。子どもと一緒に絵本を楽しめる大人になりたいですね。

